

令和5年度(令和4年度実施事業分) 主要事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

総務部財政課

総務部長 坂元 照幸

整理No	主要事業名	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
		自己評価	評価内容	方向性	内容
7-1	財政管理事務 (地方債償還元金)	B	市全体の歳入確保と歳出抑制を図る中、計画的な地方債の償還と、新たな起債発行の抑制に努め、実質公債費比率(3か年平均)を目標値である県内市平均値(2.4%)以下に抑えることができた。	現状維持	今後予定される公共施設の更新、新病院建設等による財政需要の増額が見込まれるため、可能な限り起債の発行を抑制し、健全で持続可能な財政運営に努める。
課等長	1次評価(令和4年度の総括評価)				
B	計画的な地方債の償還と借入により、実質公債費比率の目標額を達成でき、財政健全化につなげることができた。今後は、新半田病院建設、小・中学校等の施設更新に係る費用の増加や物価高騰による影響などに注視し、市全体の歳入確保と歳出削減を図る中、引き続き健全で持続可能な財政運営に努める。				
部等長	2次評価(令和4年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項)				
B	目標値である実質公債費比率については、目標通り達成することができた。多くの公共施設の更新が迫るなか、人口減少による税収減や必要な施策等に対応すべく、基金の活用と合わせ、起債による財源確保など、社会動向を勘案し、適切な財政管理を行っていく。				